

発行 法政大学での学生弾圧（暴処法弾圧）に抗議し、8学生の即時釈放を求める全国声明 事務局

〔呼びかけ人〕入江史郎（スタンダード・ヴァキューム石油自主労働組合・中央執行委員長）／西川重則（平和遺族会全国連絡会代表）／高 英男（全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部・副執行委員長）／田中康宏（国鉄千葉動力車労働組合・執行委員長）／中野 洋（国鉄千葉動力車労働組合・常任顧問）／足立昌勝（関東学院大学教授）／荻野富士夫（小樽商科大学教授）／富山一郎（大阪大学教授）／高山俊吉（裁判員制度はいらない！大運動・弁護士）／葉山岳夫（救援連絡センター代表弁護士）／鈴木達夫（国労5・27臨大闘争弾圧裁判主任弁護人）／内海亮子（法大生・内海佑一君の家族）／織田美喜子（東北大生・織田陽介君の家族）／恩田英一（法大生・恩田亮君の家族）／倉岡靖子（法大生・倉岡雅美さんの家族）／斎藤真人（法大生・斎藤郁真君の家族）／増井誠一郎（法大生・増井真琴君の家族）

〔連絡先〕国鉄千葉動力車労働組合 〒260-0017 千葉市中央区要町2-8 DC会館内
電話 043-222-7207 FAX 043-224-7197

学生運動は21世紀の今、法大にある

4・24法大集会弾圧裁判主任弁護人 森川文人（第二東京弁護士会）



今、本屋では分厚い『1968（小熊英二）』（上下）という、1968年を中心とした学生運動についての本が平積みされている。帯には「あれはなんだったのか」というコピーが記載されている。

あれ・・・なんで、学生運動の高揚が「あれ」なんだ？ 06年以来、法大闘争に主体的に関与する多くの人々はそう思うだろう。学生運動は、彼岸＝「あれ」にあるのではなく、21世紀の今、「ここ」にあるのだと。

権力、そして、それと一体となり翼賛するメディアは、時代の支配思想の生産手段となり、その末端まで、ずっばり体制内思想に染まっている。新聞もテレビも、その本質的＝商業主義的あり方からして、決して体制を逸脱するスタンスを取れない、ゆえに、「今、ここ」で熱い、火傷しそうな学生運動＝法大闘争を取り上げることは出来ず、彼岸の、もう冷めたものを眺めようとするだけなのだ。

暴力はいけない・・・国家権力に暴力を独占させ、民衆から暴力を「合法的」に奪う体制は、自らは縦横無尽に暴力を駆使しながら（たとえば、不当な逮捕、たとえば、不当な退廷命令、そして不当な監禁としての長期勾留）、民衆には行儀よく従順に従うことを強制し、メディア・教育も、その思想を徹底化しようとする。

しかし、我々は、単に違法・合法が正しい線引きでないことは知っている。現在のメジャー作品であっても、民衆的基準による、「良い暴力」と「悪い暴力」が描かれ（たとえば

第1回公判に大結集を！

■法大暴処法弾圧（刑事1部）

恩田、増井、織田、内海、新井
→10月5日（月）13時半～

■4・24法大集会弾圧（刑事17部）

斎藤、恩田、増井、倉岡、富山、内海
→10月7日（水）13時半～

※場所はいずれも東京地裁です。傍聴券の抽選があるので1時間前に正門前に集合してください。

「ごくせん」、たとえば『重力ピエロ（井坂幸太郎）』等）、民衆に圧倒的に支持されているのだ。

刑事裁判は、権力の一角にある裁判所が暴力発動（懲役等刑罰）を承認する手続きであり、我々にとってはいわば「売られた喧嘩」の場だ。そこが「合法・違法」の闘いの場であることは承知しているが、我々の目的は、その場を利用しての大衆的獲得であり勝利だ。

民衆に支持されない裁判所は結局、破滅するしかない。

我々は、「今」、「ここ」で闘おう！

（8月5日）

森川文人（もりかわ・ふみと）

横浜事件や横田基地の公害訴訟などの弁護を担当。10・17法大クラス討論弾圧から法大弁護団で活躍。学生時代からバンドに明け暮れ、現在もライブ活動が続いている。父は故森川金寿弁護士。

10月、法大弾圧裁判の公判が始まります！初公判の傍聴に行こう！

10月5日から法大暴処法弾圧裁判が始まります。監獄大学粉碎！ 8学生奪還！に向けて、国家権力と法大当局を断罪する大裁判闘争を始めましょう！

接見禁止を受けている獄中の学生たちにとって、弁護士以外の外の仲間と会える唯一の場が法廷です。初公判の傍聴に大結集して獄中8学生との団結をいっそう強くしていきましょう。

前号でもお伝えしたように、統一公判という弁護団からの当然の要求を無視して、東京地裁は公判分離を強行しました。絶対に許せません。被告団のうち暴処法弾圧グループは恩田君、増井君、織田君、内海君、新井君、4・24法大集会弾圧グループは

斎藤君、恩田君、増井君、倉岡さん、冨山君、内海君です。許し難いことに、恩田君と増井君、内海君は2重起訴であり、裁判についても両方の公判に出廷することになります。

大学を資本家が支配し、「営業権」「管理権」の名の下に学生への暴力支配が横行する…この新自由主義大学に対して、労働者と学生の団結にかけきって絶対反対で闘ってきたのが文化連盟と全学連です。自民党の政治支配が崩れゆく時代に、獄中の学生の闘いは、私たち労働者・学生の生きるべき道を示しているではありませんか。獄中8学生と固く団結し、教育と未来を労働者と学生の手に取り戻しましょう。

東京地裁への行き方

所在地：東京都千代田区霞が関1-1-4（右地図）

※最寄り駅

▼東京メトロ丸の内線・日比谷線・千代田線

「霞ヶ関駅」A1出口から徒歩1分

▼東京メトロ有楽町線「桜田門駅」

5番出口から徒歩約3分



★暴処法弾圧グループ (刑事1部・秋吉裁判長)

第1回公判期日→10月5日(月) 午後1時半



恩田亮くん



増井真琴くん



織田陽介くん



内海佑一くん



新井拓くん

※法大弁護団は鈴木達夫弁護士を団長、西村正治弁護士を副団長とする10人の統一弁護団です。

【暴処法弾圧グループを担当する弁護士】

- 藤田正人 (東京弁護士会) 主任弁護人
- 鈴木達夫 (第二東京弁護士会) 弁護団長
- 井堀哲 (第二東京弁護士会)
- 藤田城治 (第二東京弁護士会)
- 高島章 (新潟弁護士会)
- 木下徹郎 (第二東京弁護士会)

★4・24弾圧グループ (刑事17部・登石裁判長)

第1回公判期日→10月7日(水) 午後1時半



斎藤郁真くん



恩田亮くん



増井真琴くん



倉岡雅美さん



富山小太郎くん



内海佑一くん

【4・24弾圧グループを担当する弁護士】

- 森川文人 (第二東京弁護士会) 主任弁護人
- 西村正治 (第二東京弁護士会) 弁護副団長
- 花澤俊之 (第二東京弁護士会)
- 河村健夫 (東京弁護士会)

職場、地域で全国声明を広げようー獄中からのアピールー

—— 倉岡雅美さん（全学連副委員長） ——

「おかしいと思うことにストレートに行動する。それが労働者なんだ」ーこれは動労千葉の後藤組合員が私に話してくれた言葉です。

今、法大闘争は労働者階級の闘いとして闘い抜かれ、6月15日には1200人の労学が法大キャンパスを赤く包囲しました。この賛同署名もすでに1800筆を越えています。

労働者階級のストレートな行動のあらわれであり、ストレートな怒りのあらわれが、この賛同署名です。このストレートな行動は、海を越え、国境を越え、ドイツ・アメリカの教育労働者・高校・大学生も署名を集めています。110人の逮捕、33名の起訴という未曾有の法大弾圧は世界の労働者・学生をひとつに結び付け、世界規模で反撃が開始されている



のです！ 3・20イラク反戦 全世界一斉デモにて

何十万、何百万という巨大な数の力で、法大資本と国家権力を



重包囲していきましょう！！

その力は腐った法大資本と国家権力を揺るがし、打倒する戦闘性と破壊力を有し、教育を私たちの手に奪い返し、未来を切り拓く無限のエネルギーをも有しています。ぜひストレートな行動のひとつとして、賛同署名をよろしくお願いします。弾圧をぶち破り、勝利に向かってともに突き進んでいきましょう！！

（7月20日）

全国の学生・労働者の仲間のみなさん！
法大暴処法弾圧粉碎の全国声明にご賛同ください。そしてあなたのまわりにどんどん広げ

—— 新井拓くん（07年4/27・08年5/28法大弾圧被告） ——

てほしい！ よろしくお願いします。

2006年3月14日の29人不当逮捕以来、法大闘争は3年半になろうとしています。が、考えてみれば自分はその半分近くを獄中で過ごしていることになります。でもそんなことは関係ない。獄壁の内側にしようと外側にしようと団結して一個の闘いを闘い抜いてきました。

世の中「おかしいことをおかしいと言えない社会は間違っている」とはよく言いますが、

いまやそんな場合ではありません。おかしいことは正さなければならない。ビラを撒いたり、たて看板を出したら処分、集会をやったら逮捕、暴力集団を雇い入れて抗議する学生を白昼堂々殴る蹴る。こんなことを教育を語りながらやっているのが法政大学です。一方で授業料を使ってマネーゲームで金儲けをはかり、28億円の損失を出している。こんな大学は破壊するしかない。そして学生が団結して大学を、教育を、社会を運営していくし

かない！ その怒りと、自覚と、力がどんどん湧いてくる。団結が拡大していく。3年半の法大闘争はそういう闘いでした。

しかも！ 今回、私たちに適用されたのは、治安維持法と並ぶ戦時弾圧法＝暴処法です。世界は大恐慌の激化と世界戦争に向かって突き進んでいます。米帝オバマはプラハで核独占を宣言、日帝・麻生や民主党、連合、そして日本共産党などすべての体制内運動が雪崩をうってオバマ翼賛に走り、一緒になって北朝鮮やソマリア漁民、アフガニスタン、イランなど全世界に侵略戦争を拡大させつつ、私たちにに向かって戦争を扇動しています。

このような情勢の中、法大闘争は、動労千葉や国鉄1047名闘争と並んで、戦争か革命かの歴史選択をかけた闘いなのです。

ぜひ署名し、ともに闘ってほしい。なぜなら勝負は、大学の違い、職場の違い、国の違

いといった資本による分断を打ち破って団結を拡大することにかかっているからです。すでに全国・世界の仲間からこの弾圧を断罪し、団結を表明する声があがっ

ています。仲間はたくさんいます。そして何より私たちは一人の仲間も見捨てない！ さあ一緒に一切の元凶、資本主義、新自由主義を打ち倒そう！（7月30日）

3月13日の増田総長宅包囲デモにて 新井君が基調提起



4・24弾圧、「暴処法」弾圧を全労働者・学生の怒りでぶっ飛ばそう！！

09年前半戦は完全に勝利した！！ 法大当局と国家権力による未曾有の戦時型治安弾

——— 内海佑一くん（法政大学被退学処分者） ———

圧に対し、獄内外の一步も引かない闘いが、団結のみに依拠した闘いが、全員起訴という敵の狙いを完全に打ち砕き、労学連帯という画期的地平で6・14－15の大爆発を勝ち取った！！

われわれの法大闘争はいまや、教育すら金儲けの手段とする新自由主義＝最末期帝国主義を根本から打倒するものとして、最高の路線と団結で

もって闘い抜かれている。この喜びを共有し、ともに法大闘争の勝利に向かって



3月26日、情宣禁止仮処分強行した法大当局を徹底弾劾する内海君

4・24法大1500人集会にて、デモの先頭に立って闘う内海君（前列中央）
突き進んで
いこう！！

時代はまさに激動期。
半世紀続いた自民党支配が崩壊を



開始し、労働者階級が怒りの決起をはじめている。今こそ資本主義そのものを終わらせるチャンスだ。11月集会の一万人数集を実現しよう！！ 革共同に結集し、共に闘おう！！
（8月6日）

●木下達雄（大林寺住職）「法大当局の警察と一体となった学生弾圧に対して、教職員の中からも『黙認できない』という声が出

「法政大学での学生弾圧（暴処法弾圧）に抗議し、8 学生の即時釈放を求める全国声明」に全国各地から賛同メッセージが寄せられています。一部ですが紹介させていただきます。
(順不同、敬称略)

てくることを期待します。」

- 佐々木成明（弁護士）「法大当局、警視庁公安部、東京地検、東京地裁による法大学生運動弾圧は、学生の集会、結社および言論、出版その他一切の表現の自由、大学の自治を侵害するものとして絶対に許されるべきではない。」
- 藤井広明（町議会議員）「法政大学は憲法、労働法研究で名を馳せた社会正義の学問の府でした。いま、心有る学生に行っていることは誤りであり、汚点となって歴史に残るでしょう。直ちに学生諸兄に謝罪し、弾圧を止めるべきです。」
- 石井真一（動労水戸執行委員長）「法政大学と警察権力による学生弾圧を許さない。8 人の学生を早期奪還しよう！ともに闘おう！」
- 寺坂亮（会社員）「現在の法政大学の学生弾圧は戦前日本の思想家弾圧を彷彿とさせる恐ろしいものです。国家権力を動員して個々の運動を弾圧するやり方を容認すれば、今後の反戦・労働・反政府運動へと拡大していくと思います。私たち市民一人一人がこの弾圧に激しい怒りを表明することでその理不尽な動きを食い止めることができると信じています。」
- 阿井みどり（主婦）「今、学生を弾圧している人たちは、安保反対闘争後に育った人

たちで、国の正義、人間の正義にうといニセエリートです。その大学当局に正義を教えている皆さん、頑張ってください。正義感あふれる皆さんに日本の明るい未来を感じます。」

- 八谷淑夫（東京交通労働組合）「どんなに長くても明けない夜はない。敵よりも一日長く闘おう（六本木敏元国労委員長）」
- 弥永健一（東京海洋大学名誉教授）「いかなる理由であれ、事実上の自白強要は許されません。」
- 山崎弘幸（画家）「恩田君は越谷で開催した『星野文昭絵画展』とそれに伴う学習会に参加してくれて、その上講演までしてくれました。私は恩田君だけでなくその他全員の即時釈放を求めます。」
- 西山勲（とめよう戦争への道！百万人署名運動・三多摩連絡会代表）「戦争国家への分かれ道。自民政権を倒し、真の平和国家創造を。」
- 星野暁子（星野文昭さんを取り戻そう！全国再審連絡会議）「弾圧に負けない闘いと人間的共感は必ず勝利できることを示すチャンスです。健康に留意し、笑顔で再会を。」
- 下田禮子（反戦被爆者の会、百万人署名広島県連絡会）「学園に自由を！ 今一度歴史を考えて欲しい。憲法で守られた人権、戦争にいかすために親は子を育てたのではない。平和な平等な社会を求めます。」

来る8月30日、東北地方の学生・労働者が呼びかけて、8学生を取り戻す集会が行われます。呼びかけ人の青年労働者からアピールが届きましたので掲載させていただきます。

法政大での学生弾圧ゆるさない！ 8学生を取り戻そう！ 団結して暴処法をぶっ飛ばそう！ <8・30大行動>アピール

8・30集会呼びかけ人 高橋弘二（J P労組仙台東南支部集配分会）

全国で闘うすべての労働者・学生みなさんに、8月30日に仙台で開催される「法政大での学生弾圧を許さない！ 8学生を取り戻そう！ 団結して暴処法弾圧をぶっ飛ばそう！ 8・30大行動」への大結集を呼びかけます。

「一人の仲間も見捨てない、団結すれば勝てる！」このことを全世界に示したのが法政大学文化連盟と全学連の学生の3年間の闘いです。大学内でのビラまき・たて看板を禁止するという一方的な決定に抗議した学生をのべ110人も逮捕し、停学・退学処分にした国家権力と大学当局。しかし、逮捕され、取り調べで転向強要されても、「仲間を裏切るわけにはいかない！」と誰一人屈服せず闘い抜いています。そして、文化連盟の呼びかけた4・24法大解放集会は、大学当局の集会参加妨害・正門封鎖をうち破って1500人の学生が集まり、押さえつけられた怒りを爆発させました。この闘いは、全国・全世界の学生・労働者に発信され、連帯と団結をつくりだしています。

法大の闘いは、この大恐慌、資本主義の終わりの時代に、私たち労働者・学生の生きるべき道をハッキリと示しています。仲間を大切にする、こんな当たり前のことを当たり前でなくしているのが新自由主義社会です。すべての人間を資本の従属物にさせて、徹底的に分断し、競争させ、蹴落としあわせる。こんな社会のあり方を私たち労働者・学生は、自らの未来を賭けて変革しなければなりません。

いま、労働者・学生は怒っています。明日の展望を見出せない状況に怒っています。苦しみ、あきらめを持ちつつ。しかし、その怒りはこの大恐慌下でマグマのごとく噴出しています。そこに激しい危機感を抱いた法大当局・国家権力が最後に

出してきたのが暴処法での弾圧です。逆に言えば、彼らにはもう後がないのです。

この暴処法弾圧を打破する力はただひとつ、労働者・学生の団結だけです。団結こそが私たちの生きる希望であり、社会を変革する力であり、明日への展望です。集会・デモに集まろう！ 闘う労働組合や弁護士・被告家族などが呼びかける「法政大学での学生弾圧に抗議し、8学生の即時釈放を求める全国声明」を10万人集めよう！ 全国でこの闘いを大爆発させて、労働者・学生の巨大な団結をつくりだして。その力で暴処法をうち破り、8学生を取り戻そう！

<集会要項>

日時：8月30日（日）13：00～

会場：仙台弁護士会館

（仙台市青葉区一番町2丁目9-18）

呼びかけ人：石田真弓（東北大学学生自治会委員長）、安澤和芳（東北大学日就寮元委員長）、古郡陸（東北大学文化部サークル協議会運営委員長）、佐久間敬子（弁護士・仙台弁護士会）、小野寺哲（とめよう戦争への道！百万人署名運動宮城県連絡会代表）、立石美穂（とめよう戦争への道！百万人署名運動宮城県連絡会）、青柳葉子（みやぎ星野文昭さんを救う会）、谷康子（婦人民主クラブ全国協議会・宮城支部）、笹渕優樹（仙台市職員）、高橋弘二（JP労組仙台東南支部集配分会）

7月31日現在、順不同・敬称略

<連絡先>

◆東北大学学生自治会

仙台市青葉区川内41 東北大学川内北キャンパス内
TEL／090-5843-4702（斉藤）

◆みやぎ労働組合交流センター

仙台市青葉区堤通雨宮町2-21-703

TEL／FAX 022-276-1871

8名の学生がいる東京拘置所に差し入れに行こう！

8名の学生は現在東京拘置所に勾留されています。東京地裁の「接見禁止決定」により、不当にも8学生は弁護士としか会えません。そうした中で、獄中の学生とつながるひとつ



↑東京拘置所に差し入れに行ってきました

の方法が「差し入れ」です。

東京拘置所前の「池田屋」で代金を払えば、お菓子、缶詰、生花などが差し入れされます。獄中の学生には「◎◎さんからの差し入れ」とわかります。差し入れがあるととても元気が出るそうです。

※東京拘置所への行き方

【住所】東京都葛飾区小菅1-35-1

＊東武伊勢崎線小菅駅下車

徒歩約10分

＊営団千代田線綾瀬駅下車

徒歩約15～20分

獄中に差し入れる本を提供していただけますか？

獄中の学生たちは、「この機会を活用して学習したい」と意欲満々です。マルクスやレーニンの著作、歴史の本などいろんな差し入れの要請があります。

差し入れ用の本を提供していただけますか？ 「こんな本があるけど？」などご連絡いただければ、すぐ対応させていただきます。よろしくお願いします。

カンパにご協力をお願いします

すでに多くのみなさまから救援カンパを寄せていただきました。心から御礼申し上げます。

その上で、まだまだ圧倒的に不足していま

す。全国声明運動を広げるための郵送代、弁護士費用など日常的にも経費がかかります。圧倒的なカンパをよろしくお願いします。

★カンパ送付先

◎郵送 港区新橋2-8-16 石田ビル4階 救援連絡センター気付「法大弾圧救援会」

◎銀行振込 三菱東京UFJ銀行 錦糸町駅前支店

普通3520695「ハウダイダンアツキュウエンカイ」

◎郵便振替 00160-0-585187「法大弾圧救援会」

※今、法政大で何が起きているか…
YouTubeでぜひ動画を見てください。

「法政大学の真実」

→検索